



## 小さな学校をPTA、地域みんなで支える

### 久慈市立来内小学校PTA

来内小学校は、久慈市の西端に位置し、四方を標高1,000m級の山岳に囲まれ、県立自然公園久慈平庭が学区になっています。今年度、児童数は26名で小規模な小学校です。

PTA会員は16世帯で少ないですが、地域の自治会、老人クラブ、婦人会、青年会、盆踊り保存会等と連携を密にして、たくさんの方の支援をいただきながら大きな行事や活動を行っています。

PTA活動は、①心と心をつなぐ活動の推進、②美しいふるさと作りの推進、③研修への参加の推進、④自主的な活動の推進、を重点に行っています。

心と心をつなぐ活動の推進では、「お話し会」という読み聞かせの活動を行っています。平成21年度から始まり、月に2回程度行ってきました。今まで5人の保護者の方が2

3人ずつ交代で読み聞かせをしました。読み終わった本は校長室前に展示し、十分に子ども

もたが浸れるような工夫もしています。また、「ノーテレビ・ノーゲーム運動」にも力を入れています。学期に二回程度、強化週間を設け、カードを使って意識を高めながら行っています。家の人の確認のしるしの欄に励ましのことを書いたり、担任の先生から励ましのことをいただいたりすることにより、意識は高まっています。



美しいふるさと作りの推進では、「花いっぱい運動」を行っています。

各班で花壇を作り、手入れをしています。8月下旬に会長、校長、児童

会執行委員が審査をして様々な賞を決め、学習発表会で表彰しています。また「フォトコンクール」では、児童が自分の感性でファインダーから「美しいふるさと」とを捉え、写真を撮影しています。作品は学習発表

会のときに展示し、来場者が投票して賞を決めています。自主的な活動の推進のなかで行っている「三世代交流会」のときに表彰しています。これが、地域みんなで育む来内の魅力です。

PTA会長 坂本 正人  
(平成23年度東北PTA連絡協議会長表彰受賞PTA)

## 地域・家庭・学校が連携した活動

### 矢巾町立矢巾北中学校PTA

本校は開校から16年目という比較的新しい学校です。矢巾町の北部に位置し、田園地帯にあります。現在では474名の生徒が在籍していますが、盛岡市のベッタタウン化、岩手医大の誘致等で年々人口が増加し生徒数も増えています。矢巾北中学校には4つの合い言葉「先手必勝のあいさつ」「良きブレイヤ―は良き生活者」「魂をゆさぶる表現活動」「心をみがく清掃」があり、合い言葉達

成に向け、生徒は日々活動しています。

本校のPTA活動は、学年PTA委員会、専門部、地区PTA委員会、家庭教育学級があります。専門部は総務部、生活部、教養部、厚生部から成り立っています。学年PTAは各学年行事、今年度は、1学年では松岡盛明氏を招いて「人を思いやる心について」と題してのPTA親子講演会、2学年では講師の方々を招いての職業講話を企画・運営しました。3学年では私立高校説明会を予定しています。また、総務部は年2回の会報・年1回の会誌の発行、歓迎会・送別会の企画・運営等。生活部は部活動参観の企画、長期休業の安全パトロール等。教養部は高等学校視察の企画・運営、図書館整備。厚生部は親子学校環境整備活動等を行っています。地区PTA委員会は



月2回のあいさつ運動を兼ねた交通安全指導を行っています。

家庭教育学級では、PTAから希望者を募り、本校のお茶室でのお茶会、文化祭の展示作品づくり、視察、文化祭でのPTAの合唱の披露等を行っています。このような活動が認められ平成23年度は東北PTA連絡協議会会長から表彰されました。

PTA活動や毎年行われている運動会でのPTA競技にも積極的に参加してくれ、本当に協力的なPTAです。生徒の健全育成のためにも、今後も学校、地域と連携して、積極的に活動していきたいと考えております。

PTA会長 廣田利光  
(平成23年度東北PTA連絡協議会長表彰受賞PTA)

### 表紙「写真説明」

#### 一関市立金沢小学校

児童数144名、PTA会員数102名の本校は、今年で創立30周年の記念式典を行い、子ども達がいそいそと新年度に生き生きと活動している学校です。

写真は、地域の伝統行事「大名行列」に神輿を担いで参加している子ども達の様子です。子ども達の笑顔のために地域・学校とが手携えして活動しているPTAです。

(PTA会長 菅原 弥寸志)